

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

R I会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

行田クラブハウス

第1895回 例 会 (10月14日)

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
R O T A R Y

100 Years

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今日は。

そろそろ秋の季節となってきたようで、朝晩の気温も肌寒く感じられるようになってまいりました。最近秋の長雨で、少しうっとうしい気が致しますが皆さん如何でしょうか。

10月2日から5日まで、台湾・台北城中ロータリークラブに出向き、姉妹クラブの更新に行っていました。相変わらずの熱烈歓迎でソファー会長以下の会員の出迎えを中正飛行場で受け、私も相手先に出向いての交歓ははじめてであったので感激いたしました。

その夜は、台北城中ロータリークラブ、台北金鷹ロータリークラブ、台北客家ロータリークラブとの4クラブ合同例会が盛大に開催され、無事姉妹クラブの調印式も終了することが出来ました。

当日は2001年～2002年のPRVPのゲーリーさんの卓話を頂き、CPオイルさん、PPミュージックさん、2001年～2002年の3480地区PGのカンポさん、など皆さん御存知の方々もお見えになり、厳粛な中にも和気あいあいの例会を経験させて頂きました。

ちょうど10月の誕生祝、結婚祝いも行われ、行田のメンバーも該当者がそれぞれ紹介され（事前に当クラブの年度計画書に載っている会員を調べていたそうです）祝福をされました。改めて、台北城中ロータリークラブの気配りに感激したしだいであり

ます。

最終日にはサヨナラパーティーも行われ、3480地区第7分区のAGエラストマーさん、12分区のAGエレクトロニクスさんもお見えになり、最後の晩を楽しく過ごさせていただくことが出来、無事帰国いたしました。これからの友好を深めて行きたいと思えます。

さて10月6日から12日まで受付期間を設けました、次年度の会長の立候補に付いてですが、立候補をする方がなかったため、先程指名委員会を開催し12月の年次総会に次年度の会長予定者として小池利昌会員を指名する事に致しました事を皆様に御報告申し上げます。小池利昌会員は1997年入会で2001年～2002年度に小川会長のもとで幹事をなさっておりますことを付け加えさせていただきます。

尚12月の年次総会では、指名された次年度会長（ノミニ）、次年度副会長、次年度幹事、会計及び理事の選挙が行われ正式に決定いたす段取りになります。皆様方の温かい御支援、御協力をお願い致します。

次に来る10月17日の日曜日に本庄グランドホテルにて社会奉仕部門セミナーが開催されます。私と稲垣社会奉仕委員長とでいってまいります。本年度は特別に地区社会奉仕事業としてアイバンク運動を推進したいと言う事であり、この運動は既にライオンズクラブのファーストプログラムになっており、ライオンズクラブと運動を共有する事になるのではないかと思います。その辺についても、又これから始めて大きな効果を得るためにどのように展開するのか、お話があると思えます。

最後に地区の100周年委員会から100周年を記念して記念碑を川越に建立すると言ってきました。年度当初は各グループ又は各クラブごとに100周年記念事業を行って欲しいという事でありましたが、地区でも何かやるように変わったようです。

地区でやる事業でするので費用について何も言ってきておりませんので別に問題はないと思えますので御報告いたします。

卓話 若生ヨシ子 まきば園副園長



「健康と介護 実体験から」

福祉介護婦として、まきば園で体験してきた事を述べさせていただきます。

介護保険制度が平成12年4月1日に施行されて数年たち、多数の方々が介護保険制度について理解されてきた様に見受けられます。本日、御集まりの行田RCの皆様方は顔色も良く健康そうな方ばかりなので、今日直接介護を必要とされないかもしれませんが、自分自身のみで無くしてご家族の方、ご近所の方、ご親戚の方々などのためにも介護保険制度を御理解頂ければと思います。

介護保険制度は、

- ①家族が抱え込む介護から社会的介護へ
- ②年を重ねた方々が尊厳を持って生きられる社会へ
- ③65歳以上の方々へ介護サービスを提供するという3本の柱からなっております。

老人介護は社会の問題として、社会全体で連携をとり対応して行う事が肝要であると思います。

80歳以上の方々は何らかの方法で介護を必要としています。私の勤務するまきば園に於きましては、華やかに楽しく過ごしていただく事をモットーに運営されております。ですから職員の着用する制服は派手な物で、少しでも入園者の気持ちを明るく保てるように気配りしております。

まきば園は入園者の生活する事を基本としており医療を目的とする施設ではありません。色々な行事を開催して飽きのこないような運営を致しております。経済的な背景のある方々には海外旅行（ハワイ、オーストラリアなど）を楽しんで頂いております。

老人介護と申しますが、ある日突然に介護を必要とする事態が起こります。その時に混乱し迷ってしまう事が多いように感じられます。

当まきば園に於きましては、現在230名程の方々が入園介護を待っている状態です。年間7名程の方々が入園いたしております。従ってあとの入園希望の方々は空きが出る（現入園者の死亡）のを待っているような状態です。

施設に入る方々は85～86%が痴呆、残りの方々は身体的障害をもつ人々であります。長生きをされる方が多くなり、老化現象として脳が萎縮するため痴呆の方が多くなっております。自宅で生活をする老

人はなかなか痴呆が分からず、痴呆の初期症状としては「盗られ妄想（嫁に財布を盗られた）」、「まだ御飯を食べていない（実際には食べている）妄想」などがあります。

施設に相談にこられる方は同居される夫婦の方が多く、外に出られた子供さん達は同居されている子供さん達との老人痴呆に対する取られ方が異なるので、相談される時には双方で出向かれる事がよろしいようです。徘徊をされるような老人もおられますが、周囲の方々にも協力を頂いておく事が必要であります。

いずれにいたしましても老化現象は怖がらずに、また不安がらずに自然の事として取られていく事が大切であると思います。個人として悩まないで、うまく施設の方々と相談して対処していく事がよろしいと思います。

まだまだお話申し上げたい事が多々ありますが、これもちましてお話終わらせて頂きたいと思っております。本日は私のつたない話をお聞き頂いて、ありがとうございました。

幹事報告 島崎政敏 幹事



- ①日豪青少年相互訪問団員候補者として、当クラブより小山茜さん、田島佐和子さんの2名を推薦致しました。選考試験をパスすれば来年3月にオーストラリアを訪問することになります。
- ②10月12日(火) 第5グループ会長幹事会が、サンルート熊谷にて開かれ、会長と私で参加いたしました。IMにつきましては2月24日、水をテーマにもつくり大学の増淵先生に講演していただくことが了承されました。
- ③城中ロータリークラブとの社会奉仕の資金の相互拋出、昨年度分10万円のお礼として先日の訪問の際に、台北市立陽明医院からサーズ防疫のために使いましたという感謝状をいただいて参りました。尚、今年度分は水害の復興に役立てて戴いております。
- ④行田壮幸会病院に入院中の島田悦男会員のお見舞いに先日会長と伺いました。リハビリをされてご快復に向かっているようです。



黒淵会長よりフランチェスカさんに
米山奨学金が手渡された。

姉妹クラブ締結書



健康診断



結婚・誕生祝い